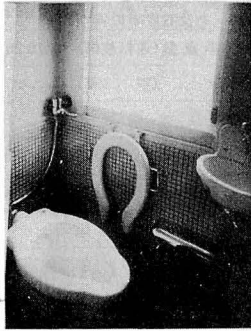
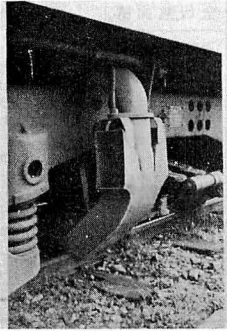


(2) 洋式便所 サイフォン式と直接落下式の2種類あり、サイフォン式のものはシスタンを設け、サイフォン便器を使用し常に便器内の水密を保ち外気の侵入臭気の逆流を防いでいる。直接落下式は和式のものとほとんど同じ構造である。



2. 洋式便所

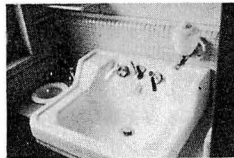


3. 臭気抜

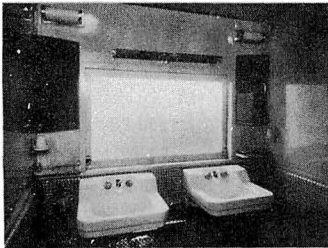
和式・洋式ともに便所内には手洗器を設け、優等車および3等寝台車には用便紙を備えている。便所内の臭気を抜く臭気抜は写真-3のような構造で、これを便器の排泄(はいせつ)管の下部に取付けそのガーランドにより列車の速度を利用して吸い出すようになっていた。またサイフォン便器を使用するものでは屋根上にガーランド形通風器を用いている。便所の腰張りは人造大理石、人造石にタイル張、ハードボードにビニルクロス張、アルミデコラ張、踏段およびたたき床は人造石にタイル張り、寒水石を混入してとぎ出した人造石、鉄板にビニルクロス張を使用している。

2 化粧室

客車の化粧室には1人用・2人用・3人用の3種あって2人用・3人用は主として3等以上の寝台車に設け、その他には1人用が設けてある。化粧室の腰張りは人造大理石または人造石にタイル張、ハードボードにビニルクロス張、アルミデコラ張、たたき床は人造石にタイル張または寒水石を混入しとぎ出した人造石、鉄板にビニルクロス張を用いている。洗面器は大別して3種あるが、古くから使われているものはうがいつぼと一体で、外形は四角または扇形で洗い鉢はだ円形、給水弁は押ボタン式のものを用いている。最近の2等以上の車および3等寝台車に使われているものは外形・洗い鉢ともに角型で給水弁はハンドル式のもので、うがいつぼを別個に給水弁とともに設けてある。各洗面器の排水装置は手動で操作し、排水管をとおし床下に排水する。



4. 化粧室



5. 2人用化粧室

以上のほか各化粧室には鏡、化粧品だな、帽子掛、くずもの入、網だなを設け、とくに2等以上の車には飲料水タンク、石けん入、タオル置台、入口カーテンを、3等寝台車には飲料水タンク、石けん入などを設けてある。

温水器 客車には化粧室に温水を供給するために温水器を備えている。温水器には角形と丸形の2種あるが、いずれもタン

ク内に銅管をとおし、これに暖房主管より蒸気を導入して温水を作り洗面器の給水弁に供給する。(林 正造)

ペンシルバニアてつどう ペンシルバニア鉄道 (米)

Pennsylvania Railroad Company 1級鉄道, 営業キロ 16,110 km, 本社所在地 Philadelphia, Pennsylvania, U. S. A.

1846・4にペンシルバニア州から、ハリスバーグ=ピッツバーグ間の鉄道建設の免許を受けて設立された。技師長トムソン(J. E. Thomson)の指導のもとに工事が行われ、ハリスバーグ=ルイスタウン間98.2kmの区間が1849・9・1開通した。新線の建設、既存鉄道の賃借および買収によって線路は漸次増加し、フィラデルフィア=ピッツバーグ間に最初の直通列車が運転されたのは1852・12・10である。

1874年にトムソン(1852年から社長に就任していた)が死亡したときは、ペンシルバニア鉄道はすでにアメリカ第1の大鉄道になっていた。1881年には鉄道はほとんど現在の規模に近いものとなり、今日の発展の基礎が築き上げられていた。主要線路はハドソン河を連絡船によって横断してニューヨーク市に達し、西はシカゴ、セントルイス、シンシナチ、クリーヴランド、バッファローおよびゾグスポイントに通じている。

ペンシルバニア鉄道会社は他会社と共同で所有する鉄道および入換・発着鉄道を除き、約50余の従属鉄道会社を擁してペンシルバニア鉄道系(Pennsylvania System)を構成している。従属鉄道会社のうち主なものは、独立経営されているグラント・ラビッツ・アンド・インディアナ鉄道会社、ペンシルバニア・オハイオ・アンド・デトロイト鉄道会社、フィラデルフィア・ボルチモア・アンド・ワシントン鉄道会社、ピッツバーグ・シンシナチ・シゴカ・アンド・セントルイス鉄道会社、ピッツバーグ・フォートウェイン・アンド・シカゴ鉄道会社、ウェスタン・ニューヨーク・アンド・ペンシルバニア鉄道会社等である。

すでに1915年以来フィラデルフィアの近郊線において一部電化が進められてきたが、実施の結果は良好であったので、1928年には本線の電化が計画され、ニューヨークからフィラデルフィアまで(1933・1開通)、およびボルチモア經由ワシントンまで(1935・2開通)、フィラデルフィアからハリスバーグ經由ペリヴィルまで電化されている。電流は架空電車線方式により11,000Vが使用されている。

主要線路はニューヨーク市から西へ、ニューヨーク、ニュージャージー、デラウェア、ペンシルバニア、メリーランド、オハイオ、ミシガン、インディアナおよびイリノイの諸州を通じて延び、ニューヨーク州のニューヨーク市およびバッファロー、ワシントン、ヴァージニア州のノーフォークおよびウィンチェスター、オハイオ州のシンシナチ、ケンタッキー州のルイゼイル、ミズリー州のセントルイス、イリノイ州のペオリアおよびシカゴ、ペンシルバニア州のウィルクスバールにおいて、それぞれ他社の鉄道と連絡している。

1955 暦年度の営業成績はつぎの通りである。

営業収入	934,972,870 ドル
営業費	768,201,214 ドル
営業係数	82.16 %
貨物輸送トン数	201,147,430 t
1 t 平均輸送キロ	401.21 km
旅客輸送人員	63,027,133 人
1 人平均乗車キロ	95.62 km
貨物輸送トン数のうち 56.4 % は鉱産物、33.5 % は工業製品および雑品目、6.2 % は農産物である。	